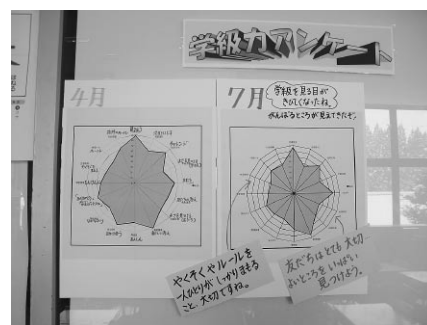




## (2)学級力アンケートの提示

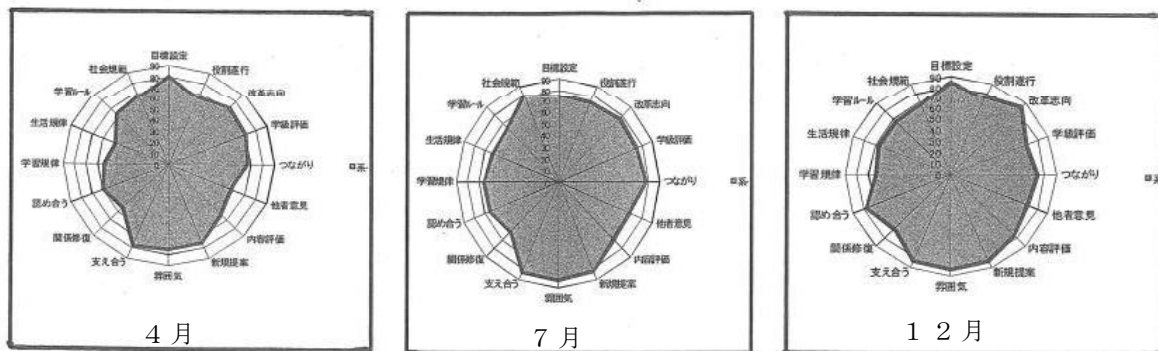
アンケート結果を子どもたちに提示することで、学級のみinnで問題点を把握し、よりよい学級を目指していくための方法を考えさせた。

児童に分かりやすい言葉を書き加えたり、改善していかなければならない点をポイントを絞って提示した。



## (3)取り組みの実際

学級力アンケートの結果と考察（4年）



### ①アンケート結果の共通理解

- ・ 4月 学団部会で4月のアンケート結果の分析や今後の取り組みについて話し合う。
- ・ 8月 全校研究会で7月のアンケート結果を受けて、よくなった点や改善の方法について共通理解を図る。

### ②学級での取り組み

- ・ 担任の見方とのずれを指導に生かす。  
(問題点や改善の方法を学級で話し合ったり、「学び合いの仕方」を提示したりした。)
- ・ 学級集会（ニコニコ集会・学級ボランティアの実践）
- ・ グループ学習を多く取り入れ、グループ構成を配慮した。
- ・ グループエンカウンター  
「なかよしすごろく」「クラ好きタイム」の実践
- ・ 係活動の活性化（呼びかけ・ポスター・頑張っている児童の賞賛など）
- ・ 道徳の授業や朝の会・帰りの会の充実
- ・ 体験活動や話し合い活動の充実

## 4 成果と課題

- 学級経営を分析的に共通の指標で見ることによって1年間を通し、計画的・継続的に学級経営を進めていくことができた。また、ずれを分析することにより、課題を明らかにし手立てを講ずることができた。
- アンケート結果を基に、全職員で成果と課題を話し合う場をもつことで学級経営の反省ができ、改善につなげていくことができた。
- 学級力アンケートを提示することで児童に自分たちの学級のよさや問題点を意識させることができ、学級力を向上させるための自発的な取り組みが見られるようになった。
- 社会規範や改革志向などの項目が向上した。また、人間関係に広がりが見られ、意欲をもって生活する児童が増えてきた。
- 学団における見方、とらえ方の違い(教師間のずれ)を話し合う場の設定と、教師の意識を変えていく手立ての工夫
- 学級の課題を解決するための具体的な実践の積み重ね